

SWR計 SW-7R 取扱説明書

この度はミズホ ハム用 SWR計 SW-7R
をお買上げ下さいまして誠に有り難うござい
ます。本機は50Ω系のアンテナ調整に欠か
すことのできない高感度の SWR 計でござい
ます。

お買上げいただいた製品は、厳重な品質管
理のもとに生産されておりますが、万一運搬
中の事故などで破損等のトラブルがございま
したらお早めにお買上げいただきました購入
店または、ミズホ通信株式会社までお申しつ
け下さいますようお願い申し上げます。

◎ 特 長

- (1) トロイダルコイルの採用で1.8MHz帯でもローパ
ワーで SWR 測定が可能です。
- (2) 広角度メーターの採用で正確かつ見やすくなっ
ております。
- (3) SWR 計の他に通過型電力計として、キャリブレ
ート無しで出力が直読可能です。

◎ 定 格

周波数範囲	1.8~150MHz
入出力インピーダンス	50Ω
入力定格電力	150W (CW)
SWR 測定範囲	1:1~1:∞
SWR 測定感度	1W以上
電力レンジ切り換え	5, 25, 150W
電力指示精度	±10% (フルスケール)
挿入損失	0.3dB以下
入出力接栓	M形
機 能	SWR・進行波電力・CAL
寸 法	W220×H66×D154mm

1. 使用上の注意

- (1) 本機はインピーダンス50Ωに設計されております
ので、50Ω以外のアンテナ等の調整は出来ません。
したがって結線用ケーブルも必ず50Ω系を御使用下
さい。
- (2) 通過型電力計として使う場合、負荷となるアンテ
ナ側のインピーダンス等が50Ω以外ですと正確なパ
ワー測定ができません。アンテナの代わりに50Ωの
高周波抵抗を負荷とすれば正確なパワー測定が可能
です。
- (3) 湿度の高い所や直射日光の当る所、また強い衝撃
等をあたえないで下さい。

2. 操作方法

(1) SWRの測定

- ①後面パネルに50Ω系のアンテナとトランシーバー
へ行くケーブルを接続します。(図-2, 3, 4参照)
- ②FUNCTIONツマミをCALに合わせ、送信機か
ら連続波(A₁やF₃等)を出しCALツマミを廻して
メーター指示を右端のCAL目盛に合わせます。(図
-1参照)
- ③その状態のままFUNCTIONツマミをSWRの位
置にするとメーターが左に振れますから、目盛の一
番上を読み取りますと、それがSWR値となります。
※一般的にSWRが1.5以下であればアンテナとの
マッチングは良好と考えられます。
この値は小さい方が良いわけですから、さらにア
ンテナ調整をしたり、カップラーを使ってSWR
値を下げれば理想的です。

(2) 通過電力の測定

- ①接続はSWR測定と同じです。FUNCTIONツマ
ミをPOWERに切り換え、POWERレンジツマミを
必要なレンジにします。(図-1参照)
- ②送信機を動作させると針が振れ電力が測定出来ま
す。レンジによって3つの目盛がありますので、各々
のレンジに合った目盛からパワーを読み取ります。

図-1 正面の操作

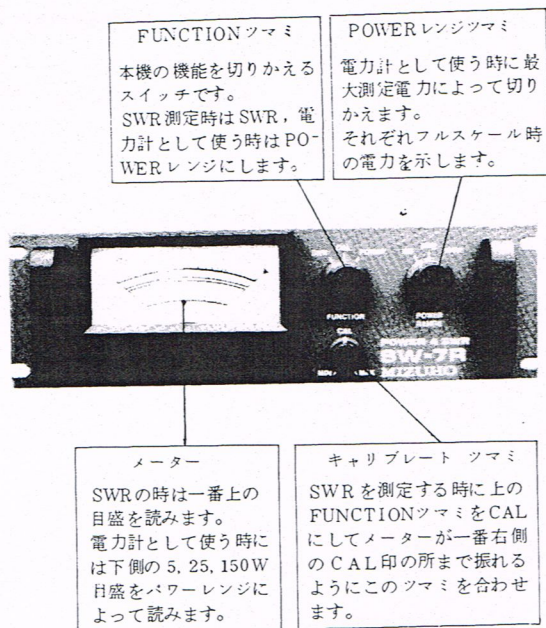


図-2 後面の接続

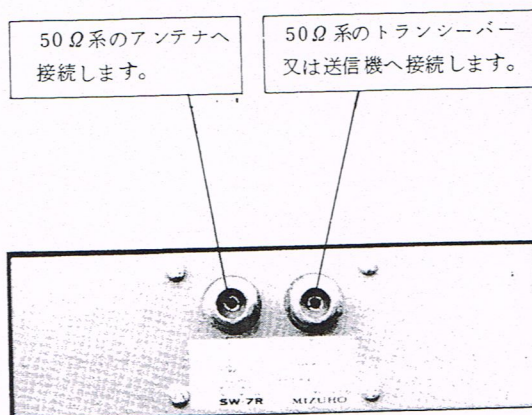


図-3

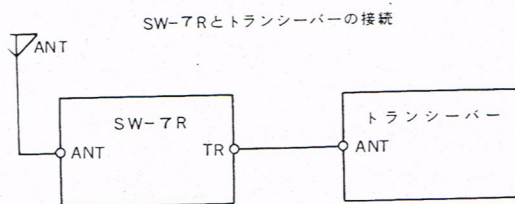


図-5

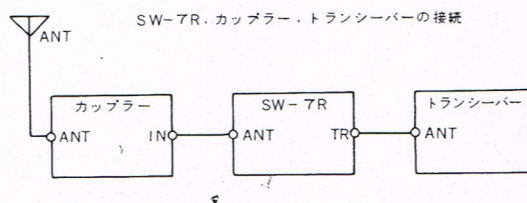


図-4

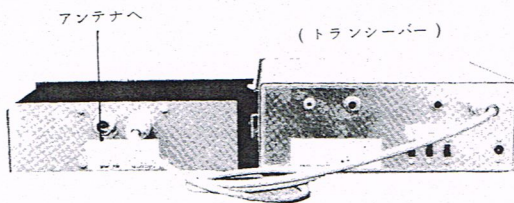
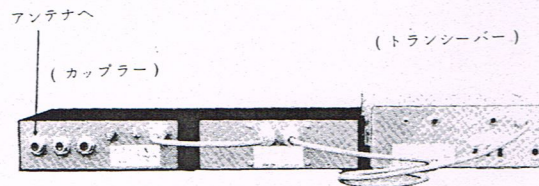


図-6



三ツ市通信株式会社

東京都町田市森野2-8-6
〒194 TEL 0427(23)1049